

令和6年2月20日

仙台赤門医療専門学校
校長 安齋 昌弘 殿

学校関係者評価委員会
委員長 吉村 敏之

令和5年度 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会は「令和4年度 学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いました。別紙のとおり評価結果を報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 吉村 敏之 (教育関係 : 宮城教育大学大学院教授)
- ② 宗形 明子 (卒業生関係 : 昭和59年鍼灸指圧科卒業
治療院 院長)
- ③ 押切 悦男 (学識経験者 : 税理士)
- ④ 原田 淳 (保護者関係 : 接骨院 院長)
- ⑤ 相澤 光哉 (地域関係 : 元宮城県議会議員・議長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和6年1月11日(仙台赤門医療専門学校 会議室)
- 第2回委員会 令和6年2月20日(仙台赤門医療専門学校 会議室)

以 上

学校関係者評価委員会は「令和4年度 学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いました。

令和6年2月20日

(署名)

吉村敏之

宗形明子

押切悦男

原田淳

相澤光哉

教育の理念及び教育目標について

- ・「伝統医学」という文言を WHO の国際疾病分類(ICD11)に合わせて「伝統医療」としたほうが適切である。

各評価項目について

(1) 重点目標について

- ・ 昨年同様。適切である。

(2) 教育理念・目標について

- ・ 学校の理念等の周知に、SNS等の活用を準備していることは評価できる。

(3) 学校運営

- ・ 研修会や学術大会での学びを通じて、医療人としての倫理観を養成していることは評価できる。しかし、近年、医療人の倫理教育がより重視されていることから、さらなる倫理観の養成を期待する。
- ・ 教職員間の情報共有や学生の課題提出等において、コンピューター等のシステムを活用していることは評価できる。

(4) 教育活動

- ・ 授業評価アンケートを実施し、結果を各教員にフィードバックすることにより、次年度の授業改善に活用していることは評価できる。
- ・ 業界関係者等が講義をする課外セミナーの開催を企画していることは評価できる。

(5) 学修成果

- ・ クラス担任の複数人配置を準備していることは評価できる。
- ・ 卒業生と在校生の繋がりを持つため、卒業生セミナーを計画していることは評価できる。
- ・ 当校ホームページに卒業生用のページを開設し、卒業生との繋がりを持つようとしていることは評価できる。

(6) 学生支援

- ・ 学生相談において、スクールカウンセラーによるカウンセリングを行っていることは評価できる。
- ・ 同窓会主催の研修会に、在学生の参加を促していることは評価できる。
- ・ 鍼灸マッサージ東洋医療科が専門実践教育給付制度の対象校として継続していることは評価できる。

(7) 教育環境

- ・ 昨年同様。適切である。

(8) 学生の受け入れ募集

- ・会場ガイダンスや高等学校の校内ガイダンスの参加回数が増加したこと、また、オープンキャンパスの来校者数が増加したことは評価できる。
- ・学生の受け入れ募集にさらなる努力を期待する。

(9) 財 務

- ・あはき教員免許取得者が専門科目及び専門基礎科目の授業を担当し、人件費比率の改善を図っていることは評価できる。

(10) 法令等の遵守

- ・昨年同様。適切である。

(11) 社会貢献・地域貢献

- ・新型コロナウイルス感染拡大の中、スポーツ大会等での救護や献血活動などの社会貢献活動を積極的に、実施してきたことは評価できる。

(12) 国際交流(必要に応じて)

- ・昨年同様。適切である。